国際交流基金助成事業報告書

薬学部　2年次生　堤結涼

1. はじめに

この度、本学の国際交流基金の助成を受け、2024年3月11日から2024年3月20日までの10日間、オーストラリア薬学語学研修に参加したことを報告いたします。主にホームステイとTAFE Kingsclife校での薬学と語学の研修を行いました。

2. 渡航前に考えていた自分の目標

私は、英語力を向上させること、他国の文化や生活に触れて自分の視野を広げること、主体性・積極性を身につけることを目標に掲げ、この研修に参加しました。

3. その目標は渡航後どうだったか

私は、初めホストファミリーと会話しているとき、英語がわからなかったり、話すスピードについていけなかったりと、会話が上手く続きませんでした。また、現地校での授業は断片的に聞き取れたり理解できたりはしましたが、完璧ではありませんでした。しかし、帰国直前には、ホストファミリーとの会話で聞き取れた単語を言って確認することで会話が続くようになりました。少しでもリスニング力とスピーキング力が向上したと思います。今回、現地校でオーストラリアの文化や薬学を学び、ホームステイ先で生活したことで、日本との違いやそれぞれの文化の良さがわかりました。オーストラリアで薬剤師として働くことができると知り、将来のキャリアの選択肢が増えたことは大きな収穫でした。主体性・積極性が、現地校での他の留学生との交流やホームステイで身についたと思います。

4. これからの自分

この研修を通して、自分の視野は行動によって広げられると感じました。新しいことに挑戦したり、様々なことに興味を持ったりして、自分の人生を豊かにしていきたいです。また、国内外を問わず英語を駆使したいと強く思うようになりました。オーストラリアでは会話が聞き取れない、自分の伝えたいことが英語にできないなど、悔しさやもどかしさを感じ、自分の英語力はまだまだ不十分だと痛感しました。これらの経験や気持ちを忘れずに、薬学の勉強と並行して英語の勉強にも力を入れようと考えています。

5. 渡航先について（気候、食べ物、生活環境など）

渡航時のオーストラリアの気候は夏で日中は暑く感じましたが、夕方以降は涼しかったです。紫外線が日本よりも強く、日焼け止めを毎日塗っていました。食べ物は、基本的には朝食はトーストかシリアルで、夕食はホストファミリーが作ってくれました。朝食と昼

食の間にはモーニングティーという時間があり、素敵な文化だと思いました。週末に食べたバラマンディという魚とホットチップスがとてもおいしかったです。生活環境は、日本よりも土地が広く開放感があり、自然豊かでとても快適に過ごすことができました。

6. 最後に

今回、オーストラリア薬学語学研修に参加させていただきありがとうございました。この研修でとても貴重な経験を得られました。ホームステイでは、ホストファミリーとの素敵な思い出ができました。現地校では、初めて出会った参加者と一緒に充実した日々を過ごすことができました。10 日間がとても濃くあっという間で、もっとオーストラリアにいたいと思うほどでした。私を温かく受け入れてくれたホストファミリー、他の参加者、現地校の先生方に感謝しています。これからは英語を使ってより多くの人とコミュニケーションできるように勉強に励みたいです。オーストラリアでの経験を活かし、日々精進していきます。

写真 1　TAFE Kingsclife 校

写真 2　授業

写真 3　Griffith University

写真4　ホームステイ先のプール

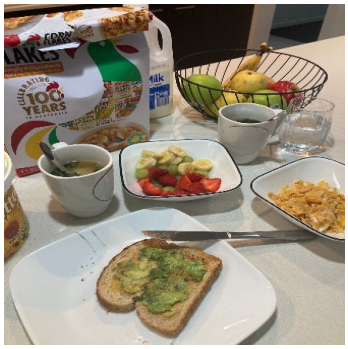

写真 5　朝食

写真 6　バラマンディ
とホットチップス